

鳥羽のお宝 再発見!



vol.37

教育委員会生涯学習課

☎ 25 1 2 6 8

謎の石造物の意味する こととは?

〜隠殿岡の石造物〜

今回は、新規指定文化財となった岩倉町の隠殿岡の石造物を紹介いたします。

毎年、お盆の時期に河内の火祭りが行われていた岩倉町の共同墓地内には大きな石造物が3基建っています。

この石造物は五輪塔、宝塔、宝篋印塔と呼ばれ、室町時代のお墓であると考えられます。

同じ共同墓地内には、九鬼嘉隆に暗殺されたとされる嘉隆の甥の澄隆の墓もあります。これらの石造物はそれよりも古いものです。



隠殿岡の石造物



五輪塔

五輪塔は花崗岩製で、高さ162cmと大きなものです。宝塔は高さ132cm、宝篋印塔は150cmあります。この五輪塔の存在は、造塔できるだけの有力者(集団)がこの地に居たことを物語り

ます。有力者とは一般的には、武将や位の高いお坊さんなどが考えられます。しかし、中世と呼ばれる室町時代から鎌倉時代にこの地区に寺院などがあったという記録は現在のところ確認されておらず、なぜこのような石造物があるのかは謎となっています。このタイプの五輪塔は、伊勢志摩では若干知られる程度で、鳥羽市内で確認された意義は大きく、残存状況は良好なため、きわめて貴重です。この石造物の主はいったい誰なのでしょう。今後新たな資料の発見が待たれるところです。

みんな子育て



子育て広場

だっこでほっと

vol.22

子育て支援センター

☎・FAX 25 7 2 2 1

田植えも終わり、田んぼにはきれいな緑の苗が生えそろっています。そんな中、1組の親子が田んぼのあぜ道でのぞき込んでいる姿を見つけました。どうやら、めだかを見つけた様子。わたしたちがこどもの頃は、よく見る光景でしたが、今はあまり見かけないのでわたしも足を止めてみました。

群れになって泳いでいるめだかを、親子で一生懸命追いかけていました。こどもは、網ですくおうと真剣そのものですが、なかなかすくえず、お父さんに手伝ってもらってやっとめだかをすくうことができました。「やったー」と大きな声を出して喜ぶこども、親子共に達成感に満ち溢れていました。身近に沢山の自然がある鳥羽ならではの

ね。緑の木々の色や香り、流れる水の音、そして土の感触、いろいろなことを感じることでできる一日となったことでしょう。そういった自然を五感を通して感じることはこどもの頃からとても大切な経験だと言われています。また、その経験はこどもの心と体に大人になっても残ることでしょう。そして、その気持ちはいつか自分を育ててくれた人や、故郷を大事に思う気持ちとなっていくのではないのでしょうか。

鳥羽の海や山など、身近にある自然を沢山感じながら子育てを楽しんでみてはいかがでしょうか。

